

未来を創る技術で名古屋を元気にするセミナー

参加費無料

次世代二次電池と エネルギーハーベスト

日時

2025年 1月28日 火 13:15-17:00

(受付：13:00～)

申込締切
1/24
(金)

場所

名古屋駅前イノベーションハブ
(ウィンクあいち 15階)

会場 オンライン

20名 30名

全固体リチウム電池などの次世代二次電池は、電気自動車の鍵となる技術です。また、エネルギーハーベストは、身の回りにある熱や振動など微弱なエネルギーを電気に変換する技術であり、これまで活用できなかったエネルギーを取り出すことができます。次世代二次電池とエネルギーハーベスト技術とを組み合わせることで電源が必要なくなるため、IoTの分野での応用も期待されています。今回のセミナーでは、脱炭素社会の実現に向けて期待されるこれらの技術についてご紹介します。みなさまのご参加をお待ちしております。

内容

13:20～14:20 【全固体Li電池の開発動向】

電気自動車では、電池特性が自動車の性能や市場価格に直結します。例えば電池のエネルギー密度は自動車の航続距離を左右し、充電器ステーションでの急速充電は電池の高出力特性がカギとなります。他にも安全性を含め、全ての面で優れた蓄電池の開発が急務となっています。最も有望な蓄電池のひとつが全固体リチウム電池です。本講演では、なぜ電池の全固体化が必要なのか、全固体電池で期待される、従来の電池では得られなかった様々な特性について、開発事例を交えながらご紹介します。

14:30～15:30

【超薄型・小型リチウムイオン二次電池EnerCera®で実現するIoT社会】

日本ガイシの超薄型・小型リチウムイオン二次電池EnerCera（エナセラ）。厚さ0.45mm、高い安全性を有し、様々な通信方式に対応可能な高出力な電池です。お客様の課題解決に貢献する、様々な事例をご紹介します。

15:40～16:40

【リコーグループの脱炭素社会に向けた取り組みと脱炭素経営のすゝめ】

昨今の地球沸騰化により、脱炭素・エネルギー価格高騰など各企業の経営課題への対応が急務となっています。そのような状況の中、脱炭素に取り組まなければならない理由の解説や具体的な解決策を事例を交えてご紹介します。

エネルギーハーベストを利用したIoTセンサの実演があります。

16:40～17:00 名刺・情報交換会

講師

宮崎 怜雄奈 氏

名古屋工業大学
大学院工学研究科
工学専攻（物理工学領域） 准教授



藤原 琢士 氏

日本ガイシ株式会社
NV推進本部
マネージャー



清水 洋岐 氏

リコージャパン株式会社
GX事業部
脱炭素ソリューション企画室 室長



田中 哲也 氏

株式会社リコー
リコーフューチャーズビジネスユニット
エナジーハーベスティング戦略室 室長



お申込み
お問合せ

メールまたは申込フォームにてお申込みください
▶
受付終了後、フォームから回答コピーがメール送付されます。
メールが届かない場合はお手数ですが、お問合せください。
(公財)名古屋産業振興公社 産業連携推進部
☎052-890-3832 ✉renkei@nipc.or.jp



※オンライン参加の方には、
1/27までに受講案内(URL)を
お送りします。

<https://forms.gle/bcvNCP6GgTvXRbee6>

【共催】 (公財)名古屋産業振興公社 名古屋市

<個人情報について>

ご記入いただきました個人情報は本講演の運営および主催者が開催するイベントのご案内に必要とされる範囲で利用させていただきます。主催者以外の第三者への提供は一切行いません。